

長崎大学情報データ科学部における数理・データサイエンス・AI教育の体制

体制の目的

データを用いて様々な実社会の課題を解決し、新たな価値を生み出すことのできる人材を養成するため、数理・データサイエンス・AI教育プログラムを整備する。具体的には、データサイエンスに必要となる数学・情報学の基盤知識、データサイエンスを実問題に適用する際に必要となる解析手法やデータエンジニアリングなどの基礎的知識と技術、データサイエンスを実際に活用する実践力の獲得を目標とした人材育成プログラムを構築する。

データサイエンス教育プログラム委員会 (情報データ科学部)

情報データ科学部長

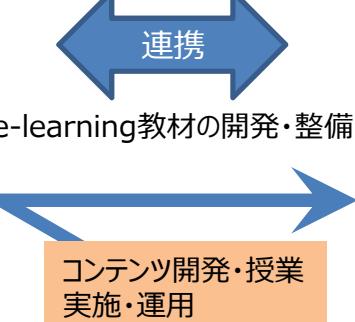
情報データ科学部教務委員会

PBL担当

情報データ科学部教員

- ・数理・データサイエンス・AI科目的プログラム整備・運用
- ・授業実施、改善、進化、自己点検、評価

応用基礎レベル科目



数理・データサイエンス小委員会（全学）

大学教育イノベーションセンター

I C T 基盤センター

学内の数理・情報・統計関連科目担当教員

情報データ科学部教員

- ・学内への普及
- ・LMS (LACS) の管理、整備

リテラシーレベル科目